

DigitalkonsensusPremium

同品質出力の設定手順  
(設定の移植方法)

Ver. 1.2

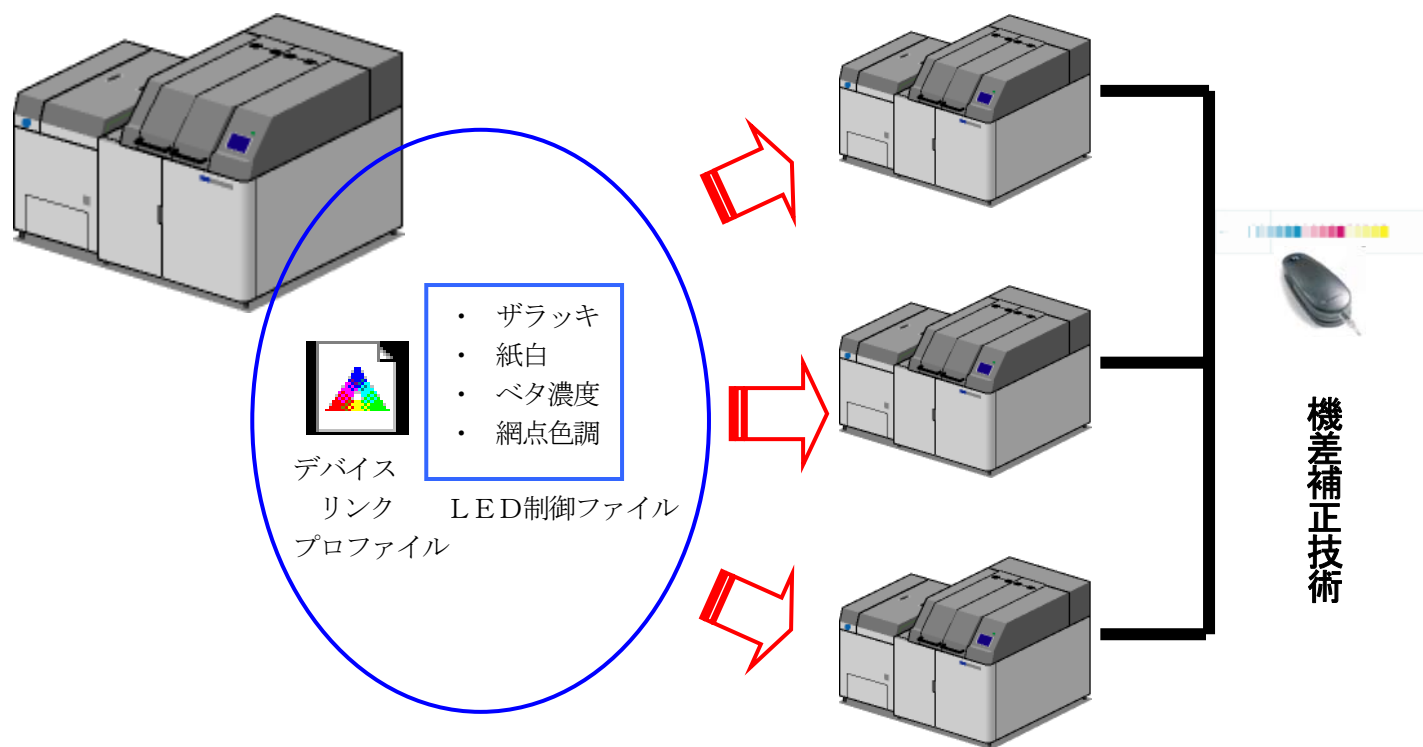
コニカミノルタビジネスソリューションズ株式会社

## 目次

1章	同品質出力とは	⇒ P. 2
2章	準備	⇒ P. 3
3章	設定	⇒ P. 4
4章	確認	⇒ P. 5
5章	機差補正（ベタ濃度キャリブレーション）	⇒ P. 6

## 1章 同品質出力とは

独自ファイルの移植により同品質での出力が可能となります。



**注意**・Ultimate Edition 独自の設定(中間ザラッキ等)はプレミアムには適用できません。  
・デジコンプロには適用できません。

## 2章 準備

【準備】下記の基準設定ファイルを用意願います。

### 「CMS運用例」

①



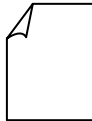
- ・移植用の条件での出力物（最終確認用）
- \* 視覚的な移植精度確認と微調整用の出力物です。
  - ・ベタ部・中間部・画像データは最低限必要となります。
  - ・データが欲しい場合は弊社営業へ連絡下さい。

②



- ・Devicelink Profile
- ・編集用のファイル（LM/kdlファイル）
- \* ドットゲインカーブも可能です。（LUTファイル）
- \* ファイルの保管場所については特に特定な場所がないのでOlssystemのDドライブの中に保管してケースが多いのでご確認ください。

③



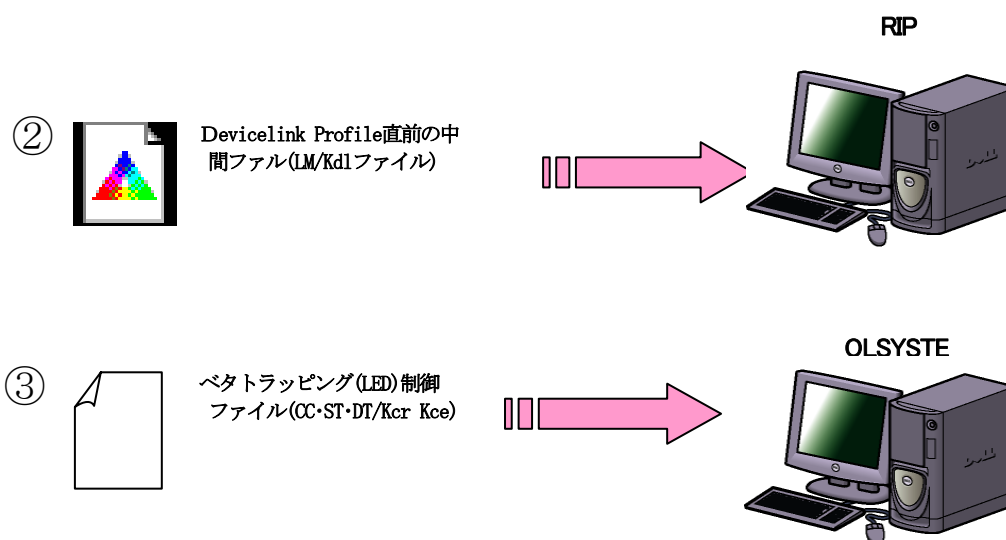
- ・ベタトラッピング(LED)制御ファイル（CC・ST・DT/Kcr・Kce）
- \* Colorcontrol-STの場合(Kcr)  
Colorcontrol-CCの場合(Kcr)  
Colorcontrol-DTの場合(Kce)
- \* ファイルの保管場所については特に特定な場所がないのでOlssystemのDドライブのOLCCTフォルダの中に保管してケースが多いのでご確認ください。

### 3章 設定

【手順1】 ②の DeviceLinkProfile ファイルを RIP 側に適用して下さい。

**\*他社 RIP については他社 RIP のマニュアルを参照して下さい。**

【手順2】 ③の LED 制御ファイル(CC, DT/KPE)を移植機の OLSYSTEM 側の D:\OLCCT にコピーしてから適用して下さい。



**\*必要に応じてホットフォルダの設定をして下さい。**

① OLSYSTEM 側のホットフォルダ設定。

**\*OLSYSTEM のマニュアル P6-3 を参照して下さい。**

② RIP 側のホットフォルダ設定。

**\*他社 RIP については他社 RIP のマニュアルを参照して下さい。**

## 4章 確認

【確認】①の出力物と同じデータを入力して①の最終出力物とのマッチングを確認して下さい。



出力物(最終確認用)

\*ベタ部・中間部のマッチング精度を近似する事で移植精度は向上します。

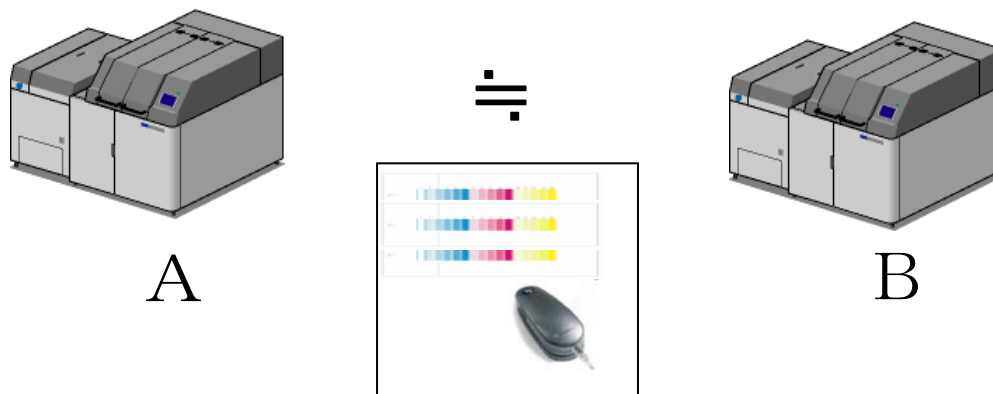
調整はColorcontrol-ST・DTで微調整願います。

数値的な確認はDigikonTunerを活用して下さい。

## 5章 機差補正（ベタ濃度キャリブレーション）

独自の機差補正機能を使い高い色安定性を維持する為に必要なキャリブレーション機能です。

移植精度の向上に必要です。



ベタ濃度キャリブレーション

\*設定方法は別紙ベタ濃度キャリブレーション設定方法を参照。